

日付	令和5年12月14日(木)
担当課	総合政策課
電話番号	0742-34-4786 (内線 2210)

2024年1月13日・14日に県コンベンションセンターで開催

「奈良市×シビッククリエイティブシンポジウム 2024」を開催



奈良市 × シビッククリエイティブシンポジウム 2024

NARA CITY × CIVIC CREATIVE SYMPOSIUM 2024

会場 奈良県コンベンションセンター
奈良県奈良市三条大路1丁目69-1

2024.1.13 (土) 13:30-15:30 | 開場 13:00
テーマ ウェルネス×シビッククリエイティブ

2024.1.14 (日) 10:30-12:30 | 開場 10:00
テーマ クラフト×シビッククリエイティブ

主催 奈良市

要申込

奈良市では、2031年のまちの姿として、『わたし』からはじめる『わたしたち』のまち 奈良というビジョンを掲げています。それに向けて奈良市では、2025年の大阪・関西万博を契機に、市民との共創や「シビッククリエイティブ（まちに対して発揮する市民の創造性）」によって、まちの課題を解決することを目指します。

今年度は、「ウェルネス」と「クラフト」をテーマに、奈良市の内外で活躍するゲストをお招きし、シンポジウムを開催します。ぜひともお気軽にお申し込みください。

トピックス

- ・2025年の大阪・関西万博を契機に、市民との共創や「シビッククリエイティブ（まちに対して発揮する市民の創造性）」によって、まちの課題を解決することを目指します。
- ・【1/13 開催】奈良時代、光明皇后が悲田院・施薬院を設立したように、福祉はじまりの歴史を有する奈良で活動し、先進的な取組を行っているゲストが集い、福祉とまちと市民の関わり方を考えます。
- ・【1/14 開催】奈良には、天平文化とともに花開き、綿々とつづいてきたクラフトの産業文化があります。伝統を継ぎながらクラフトに携わるゲストの様々な視点から、「つくること」への向き合い方のヒントをいただきます。

1 会場

- ・会場 奈良県コンベンションセンター204 会議室（近鉄新大宮駅徒歩約 10 分）

参加費無料
詳細は
HP から▶



2 イベント内容

ファシリテーター

齋藤精一氏（パノラマティクス主宰/2025 年大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクター）

1975 年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科（MSAAD）で学び、2000 年からニューヨークで活動を開始。Omnicom Group 傘下の Arnell Group にてクリエイティブ職に携わり、2003 年の越後妻有アートトリエンナーレでのアーティスト選出を機に帰国。2006 年株式会社ライゾマティクス（現：株式会社アブストラクトエンジン）を設立。社内アーキテクチャー部門『パノラマティクス』を率い、現在では行政や企業などの企画、実装アドバイザーも数多く行う。2023 年グッドデザイン賞審査委員委員長。2025 年大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクター。2023 年 D&AD 賞 デジタルデザイン部門審査部門長。



プログラム

1 月 13 日「ウェルネス」、14 日「クラフト」をテーマに、下記のプログラムを予定しております。

- ・イントロダクション（シンポジウム開催の経緯やコンセプト、シビッククリエイティブについて）
- ・テーマをめぐる奈良市の現状・課題と市の取組
- ・ゲストによるプレゼンテーションとパネルトーク

2024 年 1 月 13 日（土）
13:30～15:30（開場 13:00）

ウェルネス×シビッククリエイティブ

まちの「福祉」を市民とともにもう一度デザインする

奈良時代からつづく福祉の歴史を有する奈良。その奈良で活動し、注目を集める試みを行いグッドデザイン賞を受賞したゲストが集い、福祉とまちと市民の関わり方を考えます。

ゲスト

石田慶子氏（まほうの다가しやチロル堂共同代表/一般社団法人無限代表理事）

2021 年に生駒市に「まほうの다가しやチロル堂」をオープン。地域の子どもたちを地域のみinnで支える取り組みが認められ 2023 年に「グッドデザイン大賞」を受賞。9 月にはこれまでの運営スタイルとは違うモデルを目指す 2 号店がオープン。本業は生駒市で障害のある子どもや就労支援事業所を運営する一般社団法人無限の代表理事。



播磨靖夫氏（一般財団法人たんぼの家理事長）

新聞記者を経てフリージャーナリスト。「わたぼうしコンサート」を生み「エイブル・アート・ムーブメント（可能性の芸術運動）」を提供、1999 年からケアの文化の創造をめざして「ケアする人のケア」に取り組む。2009 年度「芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門」受賞。2016 年障害のある人とつくる新しいはたらき方「Good Job!プロジェクト」でのグッドデザイン賞金賞受賞。2022 年度文化功労者に選出。



松島靖朗氏（認定 NPO 法人おてらおやつクラブ代表理事/安養寺住職）

こどもの貧困問題解決のため、支援団体や公的機関と協業する「おてらおやつクラブ」を全国展開。2020 年 11 月認定 NPO 法人化。2018 年度グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）、2021 年内閣府女性のチャレンジ賞。共著『ともに生きる仏教』ちくま新書、『不要不急』新潮新書



2024 年 1 月 14 日（日） クラフト×シビッククリエイティブ
10:30~12:30（開場 10:00） 「つくること」と、どう向き合うか

奈良で天平文化とともに花開き、綿々とつづいてきたクラフトの産業文化。伝統を継ぎながらクラフトに携わるゲストの様々な視点から、「つくること」への向き合い方のヒントをいただきます。

池田匡志氏（奈良団扇職人 池田含香堂 6 代目）

1990 年奈良市生まれ。奈良団扇職人。大学卒業後に家業を継ぎ、2012 年に 170 余年の老舗「池田含香堂」の 6 代目に就任。2015 年、経済産業省「The Wonder 500」認定。2018 年、奈良伝統工芸展大賞受賞、大英博物館展示。奈良伝統工芸後継者育成研修第 4 期生。



佐野文彦氏（建築家/美術家）

1981 年奈良県生まれ。数寄屋建築の名匠・中村外二工務店に大工として弟子入り。2016 年 文化庁文化交流使として世界 16 か国を歴訪し各地の文化と交わる数々のプロジェクトを敢行。独自の経験から得た技術と感覚を活かし、建築からアートまで領域横断的に活動している。主な展覧会に、MOT satellite/東京現代美術館(2017)、Design Miami/Basel(2017)、Sence Island(2019)、Mind Trail(2020)、跳躍する作り手たち/京都市京セラ美術館(2023) 主な受賞歴に、EDIDA 2014 ELLE DECO Young Japanese Design Talent(2014)、2016 年度文化庁文化交流使(2016-17)、Emerging Designer of the Year(2022)、single-brand store of the year(2023)



千石あや氏（株式会社中川政七商店代表取締役社長）

1976 年生まれ。香川県高松市出身。大手印刷会社に入社し、デザイナー、制作ディレクターとして勤務。2011 年に中川政七商店に入社し、社長秘書、商品企画課課長、「mino」コンサルティング、「遊 中川」ブランドマネージャーなどを経験したのち、2018 年 3 月より社長を務める。



3 申込先

令和 6 年 1 月 13 日（土）
ウェルネス×シビッククリエイティブ
申込



令和 6 年 1 月 14 日（日）
クラフト×シビッククリエイティブ
申込



4 〈参考〉これまでの取り組み

2023年2月19日、県内市町村で初の万博関連行事として、「奈良市×万博キックオフシンポジウム」を奈良県コンベンションセンターで開催しました。当日は、奈良市の持つ強みを活かし、万博とどう関わっていくのか。さまざまなアクションへとつなげるべく、各界の著名人や有識者をお招きし、基調講演やパネルディスカッションを実施し、約200名の方にご参加いただきました。



▲詳しくはこちら